

「日本比較免疫学会第 28 回学術総会」参加レポート

D1 長井 広樹

8/18～8/20 にかけて東京医科歯科大学にて開催された、日本比較免疫学会第 28 回学術総会に参加し、口頭発表をさせていただきました。2 年前にも比較免疫学会の学術総会で口頭発表を致しましたが、そのときは同じく口頭発表していた同期の靱内君が古田奨励賞を受賞しました。この古田奨励賞というのは、論文等の業績によらず、当日の発表内容に対して贈られるものです。2 年前は M1 ながら受賞を目指し、その目標が達成できなかったことを悔しく思ったことを鮮明に覚えています。今回、発表の機会を得ることができ、積年（2 年ぽっちですが）の思いを果たすとき！と意気込んで発表準備を行いました。お盆期間、帰省した地元で一人散歩しつつ、ぶつぶつ原稿を暗唱したことは、我ながら病的な入れ込みようだったと思います。

発表当日、いざゆかんと演台に立ちましたが、なんと自分の不手際により用意したスライドがスクリーンに映りません。持参した PC をプロフェクターに繋ぐことで事なきを得ましたが、焦りと緊張が一挙に到来しました。しかし、執拗に発表練習してきたことが功を奏したのか、ひとたび発表を始めると落ち着きを取り戻す事ができました。質疑応答で相手の意図を汲んだ受け答えができなかった場面があったことは今後の反省点です。発表前のゴタゴタと併せて反省点の多い発表ではありましたが、結果的に、古田奨励賞を頂くことができました。これまでの自分の研究に対する努力を評価していただいたことを、この上なく有り難く思います。感無量です。この受賞に慢心することなく、今後も一流の研究者を目指してより一層の努力を積んでいきたいと思っています。

また、学会 2 日目の夜には懇親会が開かれ、他研究室の方々と交流することができました。特に、自分と同様ショウジョウバエをモデルに研究を行っている方達と情報を交換し親交を深めることができ、今後の研究生活のモチベーションが更に向上しました。次に会えるときにはまた新たなデータを持って、和気あいあいとディスカッションできたらいいな、と思います。

最後になりましたが、このような機会を頂けたことに、深く感謝申し上げます。

